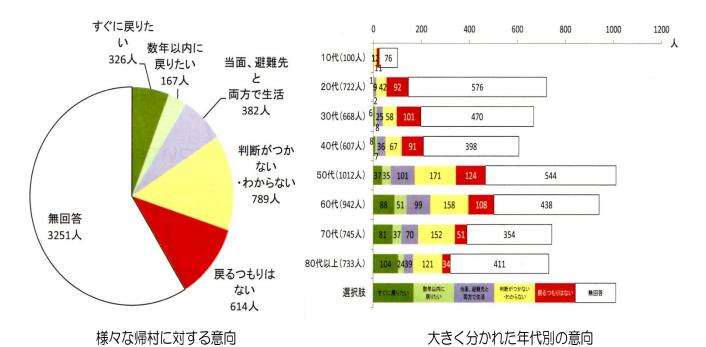
## なぜ分断が促進されているのか?

- 1、線量に対して異なる認識(避難をめぐって、除染をめぐって、帰村をめぐって)と 異なる賠償額
- 2、避難場所(生活の場)のちがいにより喪失した「むらの共通認識」
- 3、職業による再建の困難度のちがい
- 4、国による除染事業の遅延と効果の限界による影響
- 5、早期帰村優先の復興政策への不信感(住民参加方式の喪失)

# 分断の結果どのような傾向がみられるのか

25年8月実施 村民アンケート 対象 18 才以上(5.529 名:回答率43%) 図「村復興計画第4版より」



多くの村民が抱く不安



どのようにして次世代へつなぐか?



地域の維持は可能だろうか?

# 村の復興計画ではどのように村民の不安に応えようとしているのか

#### ●村復興計画の重点事項

1、新たな拠点としてスマートビレッジ整備

(道の駅、15戸の復興住宅、メガソーラー、花卉栽培施設、広場、遊歩道等)

- 2、事業実現のための復興会社設立に向けた検討
- 3、村内復興住宅の整備計画策定(既存の内 61 戸+50 戸新築)+村外住宅 183 戸
- 4、村民一人ひとりへの支援拡大

戻る・戻らない人共通支援策(案) 赤字(より密接な事項)青字(次いで密接な事項)

拠点を結ぶコミュニティーバス運行、営農・事業再開・福祉教育等の支援のための基金、避難村民の交流支援、 行政区集会所修繕、生活自立促進事業、手仕事支援、

子育て助け合い支援、子育でメルマガ配信、避難防災対策、失業対策事業復活、村内荒廃防止対策、モニタリングポスト増設・食品測定器の配置、ガラスバッチ配布、自己除染手法(国除染完了地)検討実証

#### 戻る人への支援策(案)

住宅用再生エネ利用導入支援、有名講師による魅力ある学校教育、商業共同店舗の開設、空家有効活用事業、 エコビレッジ事業、高齢者拠点居住空間建設、光2 芯整備、送迎と健康チェックつき公衆浴場整備、新規企業誘致、小規模ハウス設置による生きがい対策、農業中間管理機構による農地の賃貸・集約・農業機械の共同化、

#### 戻らない人への支援 (案)

借り上げ住宅家賃一定期間補助、

子育て助け合い支援、村外住民向け活動費補助、情報提供の継続、

#### 5、営農再開方針の検討と国に対する要望

村独自の営農再開支援制度(県の営農再開支援制度を充実?) 除染後の農地維持、地力回復、試行栽培から本格的な出荷再開までの継続的な支援、 農地の集約(積)化、利用しがたい農地の転用の支援、

原発被災特例(長期にわたる営農再開プロセスを一貫支援)による農地再生制度を国へ要望 「いいたて再生基金」の創設

#### 6、行政区計画策定

第4版で初めて直接住民の声を反映した計画づくりが可能 今後、代表者による行政区ワークショップと それを基にした行政区内での個別ワークショップ開催

#### ●今後のスケジュール



- ・除染の遅れにより、住環境と農地の除染完了 による避難指示解除は困難
- ・28年3月を避難指示解除の当面の目標
- ・住環境除染完了で避難解除に向けた協議を (26 年秋に解除見込み時期を示す)
- ・特例宿泊制度活用により早期帰還希望者に答 える
- ・早期に戻る人、戻れない人双方に支援を (復興計画第4版 より)

### 復興に向けての課題と手法を考える

- 1、行政と村民の関係修復を重視すべき
  - 「災害で受けた傷は思ったより深い!」・・・避難、除染、賠償等をめぐって村民の意識は 分断から分散に移行 どのように修復すべきか?
  - ①復興の主人公は村民であることの確認を行う。 主人公は国でも村でも、もちろん職員でも議員でもない。
  - ②与えられる復興でなく 創り出す復興へ

主人公たる村民のやるべきこと、やれること、(やりたいこと)をさがし、行動することを支援する。

・・・・・村民の知恵を引き出し、研ぎ合い、高める

#### 具体的には

「私(達)の復興計画」・「村民への支援策」への提案制度の設置・・・・審査は村民代表 採用されれば予算化

- ③村の復興計画は「たたき台」に徹する姿勢を持つ
  - ―― 第4版計画策定時点でようやく反映されようとしている村民の声を大切に――

そのために復興計画推進委員会の構成見直し(村民委員を増やし、公聴会の開催などで意見聴取の機会をつくる)

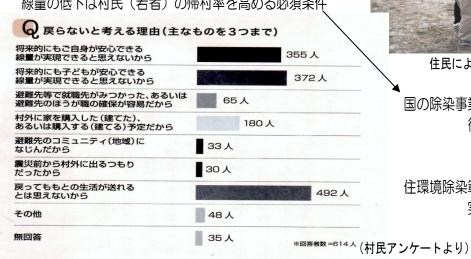
- 国の復興基金を使うもの(応用きかせにくい)・・・・急ぐ必要
- 村単独資金を使うもの(応用きかせやすい)・・・・醸成が必要
  - ―― 復興には村民の「意欲」や「力」が必要・・手法を間違えると結束力が発揮されない ――
- 2、避難指示解除の時期の検討は より多くの村民を巻き込んだ議論が必要

「早く戻りたい」と考える方を尊重し、帰村宣言を行えば、更に分断が深まる可能性

農地の除染は帰村の必須条件

避難期間が長引いても 除染の検証を村民参加で行うことで 失うものを少なくできる

3、あらためて「除染の徹底」を復興の基本とすること 線量の低下は村民(若者)の帰村率を高める必須条件



住民による土壌深度別測定

国の除染事業は時間の経過とともに 後退していく傾向にあり

住環境除染範囲の縮小、引き水(水源地)除染 実施しない方針(環境省)

4、「全村避難」になった村だからできる構想の模索・・・・外部専門家との連携 老人村特区、風評被害を受けない農業(エネ作物・太陽光と牧野)等の可能性を追求

どのあたりに避難?

土壤轮直分布は?

ナ、資料の中に誘われ) →現れば… · 飯館村 45 | 時向間 ほでんじは県内、

し、イリシシによりかくむし 2. ヤナギが生えている

3. 津险器 南祭

.住民主体。除架 農家

たかさの際半はない

-米に連蔽される納

插污染 水飞灰板

温度百姓?

杨格技院方 ( ( ( Constant)

X+1-7-

創り出す

復衄

力震地X

家庭用

若しはは 伊えないませり

¿313< 情許r? 基平に見るな itnifissing"

ふるなと意識

接助 1

村民 サ東す

他吃方

→ 引寄せ言

hooch 短東 付租化

展まない人への 都市从 開力大戶村

TO

# 椒泥

崩壊く潜在か 惟持

時间一种深73=2 定業経営・秋金 1. 国州柴 7-7-19-19

2. 703t BT ·美国美了基础。

世帝。分析

**黎族3197世等(!)** 

宇南至#1十3年 如2年的

> 将来へつなけり かか

循環空農業

· C;个影響作? ·土内配大け?

· 安全安心

ミろなかれをもいけい 8000日本人日 

1

一部地内土地内 サンプリングを調査

・、じ面でだっく 除染化化

FOR

なけた物で極

六个子术11

たかっての米を

今起か通り 農業をやりたい

twit=Cs mon

湿室栽培?

農業も大切!!

花 = EFIC 生红打用生

4-5-

Y-7-D

我培

4-5-蛋、取门

20-7041# 20-7041#3

飯館村 .稻

・ウシ、タバン

· Linkey

いいたての